

校内文化祭

11月6日(日)に校内文化祭が実施されました。昨年までは、日曜(土曜)学級として学校単独で実施していましたが地区の方々と学校(子どもたち)の相互交流を目的とし、今年は同日実施となりました。当日は2時間の授業参観のあと体育館において講演会も開催されました。今回新校舎の建設工事中で校内が様変わりしており体育館への誘導の不便もありましたが多数の方に聴講していただくことができました。



講師

四日市市教育委員会青少年育成指導室主幹 南 勝氏
昭和52年警察官になられその後北勢地区の警察署で勤務、
今年3月まで四日市北警察署・生活安全課勤務。
4月より市教育委員会に籍を移され青少年育成指導の
お仕事でご活躍中。

演題 『子どもを犯罪から守るために』 (内容抜粋)

犯罪原因論 犯罪者(または犯罪を犯す恐れのある者)の性格、人格、生活環境等を研究していく中で犯罪原因となる要因を排除し犯罪発生防止に結びつける。

犯罪機会論 現在主流の考え。
犯罪を実行する機会があれば犯罪性の低いことでも実行してしまう。万引き
逆に犯罪を実行する機会がなければ犯罪性の高いことでも未然に防ぐことができる。

犯罪を寄せ付けない環境作り 大人(家庭、地域)

犯罪に巻き込まれない意識作り 子どもたち自身

(例)不審者マップの作成 大人(地域)が作った不審者マップを子どもたち自らの目で見、自らの足で確認し子どもたち自身のマップとし犯罪を予想し回避する。

現在、学校内は落ち着いているものの学校外では子どもたちが関係する事件が起きている。

家庭での教育(しつけ)をしっかり行わなければならない。

家庭内(両親との)会話が大切

しっかりとしたしつけ 非行防止

(例)少年院で正しい箸の持ち方をする子が少ない 親が教育(しつけ)していない

『あいさつ』が基本

自然に「ありがとう」が言える環境づくり

親が自らの姿をもって教えていく

子どもたちへの教育(しつけ)は、大人である親の責任



以上、南氏の講演内容を抜粋ですがお伝えしました。

南氏は、『あいさつ』の大切さを強調されていました。中でも「ありがとう」という感謝の気持ちを表す言葉の大切さをご自分の実践をもとにお話いただきました。氏は、スーパーで買い物をされレジで支払を済ませ商品を受取る時必ず「ありがとう」と言われるそうです。

皆さんのこの講演会のご感想はいかがだったでしょうか。

この記事編集して以下のような感想をもちました。

私たちの毎日の生活の中で、意識しないで繰り返して行っていることがあります。朝起きるとまず「おはよう」と家族に朝のあいさつ、着替え、食事。そして、仕事で人に会ったり、電話で「お世話になります」や「ありがとうございました」のあいさつ。仕事が終われば「失礼します」「お先に」。家に帰って「ただいま」。お風呂に入り夜の食事。最後に「おやすみ」と・・・。

これらはすっかり習慣となりあまり意識していませんが、健康で円満な家庭生活、また社会人として暮らしていくために、なくてはならない生活の基本であります。

この基本を子どもに教え、しつけるのが親として大切な役目です。

しかし、難しく考えることはないと思います。毎日の生活の中で親自らがまず行い（実践し）、それを子どもたちに見せていけばいいのです。子どもたちは私たち親（大人）が思っている以上に親（大人）の姿・行動を見ています。我々が子どもの時にそうであったように。

来年も、PTA本部ならびに講演会担当部員さんと共に皆さんに参考となる講演会企画を提案いたしますので、ぜひ今年以上多数の方に参加いただきますようお願いいたします。